

令和8年度 南郊中学校 学校経営の改革方針

学校教育目標

生命および人権を尊重し、主体的に学び合い、たくましく生き抜く人間性豊かな生徒の育成
めざす生徒像

- ・自分も周りの人も大切にし、お互いの事を認め合う生徒
- ・分からない事、知らない事を放っておかず、自分から分かろう・知ろうとする生徒
- ・今の自分と向き合い、進む道や将来の事を考え行動できる生徒
- ・社会の現状を踏まえ、自分の思いや感情を相手に伝わる方法で表現できる生徒

2026学校づくりスローガン「誰も放っておかれない学校づくり～今のところの自分を大切に～」

保護者・地域との連携

PTA、南郊地区青少年育成協議会、南郊中学校区家庭学習支援本部、学校運営協議会との協働（南郊コミュニティ・スクール）

特色ある教育活動

ノーチャイム、生徒会活動、（拡大）室長会、NANKO 手伝隊、職場体験学習・職業講話、学級びらき、フリー参観

小中一貫教育

5部会（人権教育部、学力向上部、特別支援教育部、外国籍児童生徒教育部、生徒指導部）の活動、公開授業、小中交流会

働き方改革・活力ある学校

時間外勤務時間月45時間以下、部活動の見直し・地域移行の推進、定刻退校日の設定、休暇取得日数増、会議時間の短縮化

人権教育・仲間づくり

生徒指導・生徒理解

学校経営の3つの柱

学力保障・授業改善

「南郊中学校の学び」の創出

- ・「誰一人取り残さない学び」の実現に向けた授業改善
- ・「仲間とつながり、主体的に学ぶ生徒の育成」をテーマにした校内研修
- ・スーパーバイザー・アドバイザーの招聘
- ・公開授業研究会を中心とした指導力向上
- ・朝の読書、朝の学習、読解力向上（よむ YOMU ワークシート）
- ・テスト前の補充学習の取り組み
- ・スタサプ等を活用した家庭学習の支援・指導

- ・自分を見つめ、自身の思いを語る取組、仲間の思いを受け止め、自分に重ね、それを返す取組（学年人権集会、学級活動、部活集会）
- ・生徒を取り巻く人権課題の解決に向けた取組
- ・教師自らが語り、生徒とつながる取組
- ・人権課題に学ぶ人権学習、差別を許さない生き方に学ぶ出会い学習等、生徒に必要な人権学習
- ・人権サークル・国際サークルの活動・発信
- ・人権フォーラム、人権フェスティバル
- ・地域との連携（地域学習・活動）など

- ・生徒の心に寄り添い「あきらめさせない」指導
- ・生徒、保護者との信頼関係に基づく指導
- ・家庭の状況、家族との関係など、生活背景の把握
- ・教師間の共通理解の下での粘り強い指導
- ・自ら考え、行動できる生徒の育成
- ・外国につながる生徒への支援の充実、特別支援教育の充実
- ・SC、SSWとの連携、関係機関との連携
- ・地域ボランティア清掃、NANKO 手伝隊の活動等、地域行事への参画、地域での活動など